

原子力産業セミナー2023 速報

2021 年 11 月 5 日
(一社) 日本原子力産業協会

原産協会は関西原子力懇談会と共催で、原子力産業界の人材確保支援と原子力産業への理解促進のため、合同企業説明会「原子力産業セミナー2023」を、10月23日(土)に東京・浜松町、10月30日(土)には大阪・梅田で開催した。コロナ禍を踏まえ今回は初めて、学生が来場して参加するだけでなく、Web経由で企業の説明を聞くことができるようにした。

東京、大阪会場に来場した学生は合計 317 人(東京 164 人、大阪 153 人)、Web 経由で参加した学生は合計 63 人(東京 38 人、大阪 25 人)。東京会場には 86 校、大阪会場には 53 校から合計 380 人(東京 202 人、大阪 178 人)が本セミナーに参加し、昨年度(439 人)より 59 人減となった。

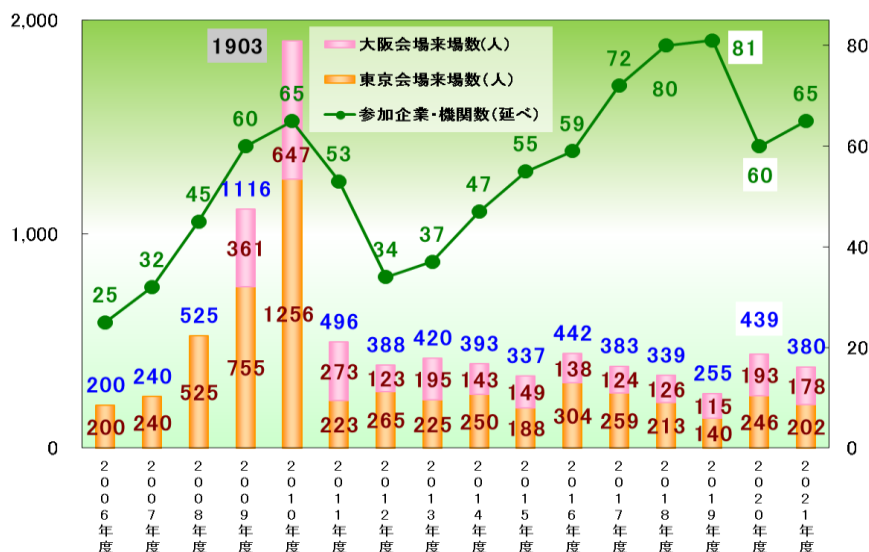
新型コロナ感染が広がる中、学生の就活への関心が高まっている反面、対面式の就活セミナーは減少している。就活の前倒し化に合わせて開催時期を昨年度同様 10 月とした。

出展企業・機関数は東京・大阪合わせて 65 社となり、昨年度より 5 社増となった。コロナ感染拡大による経済低迷で新規採用に慎重な企業が増えてはいるものの、企業側も対面式のセミナーを選好する傾向があり、緊急事態宣言の終了とともに参加を決めた企業があることなどが要因と考えられる。本セミナーにおいても、昨年に引き続き、出展企業が対面式か Web 方式かを選択できるように配慮した。

1. 概要

() 内の数字は昨年度

	東京会場	大阪会場	
開催日	2021 年 10 月 23 日(土)	2021 年 10 月 30 日(土)	
開催場所	東京都立産業貿易センター(浜松町館) イベントホール	梅田スカイビル アウラホール	合計
来場学生数	202 人(246 人)	178 人(193 人)	380 人(439 人)
参加企業・機関数	37 社(34 社)	28 社(26 社)	65 社(60 社)



原子力産業セミナーの来場学生数、参加企業・機関数の推移

2. 参加企業・機関一覧

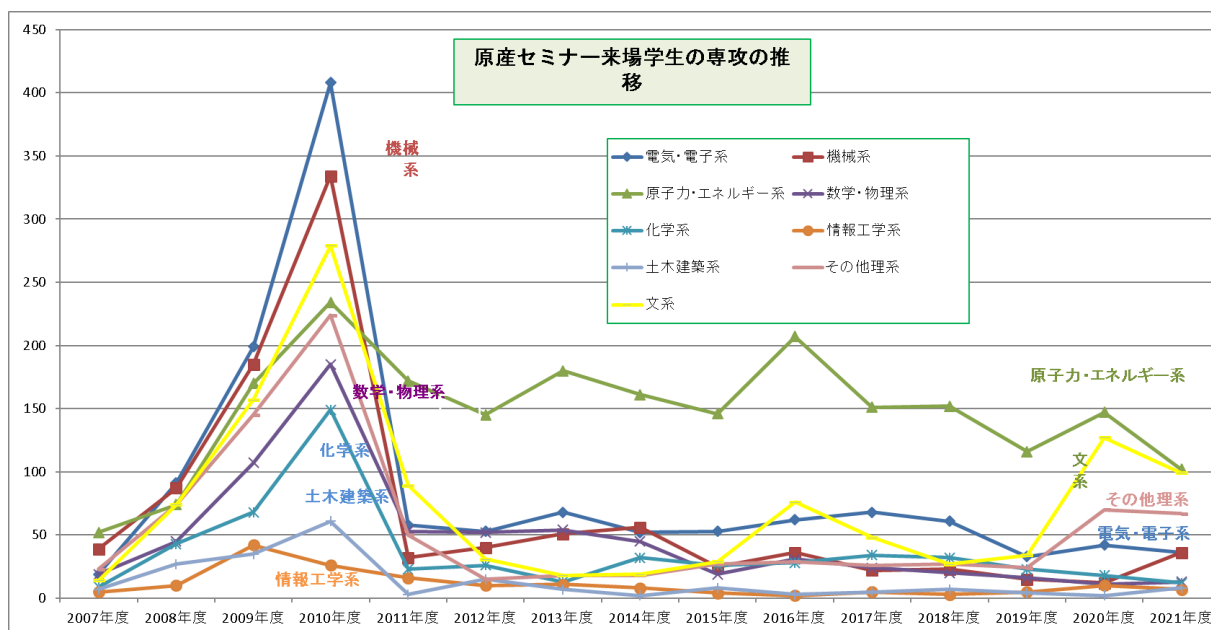
出展企業・団体（＊は初出展の企業、web参加は対面との併用を含む）			
電力関連企業		東京	大阪
1	東京電力ホールディングス(株)	○	○
2	中部電力(株)	○(web)	
3	北陸電力(株)		○
4	関西電力(株)	○	○
5	J-POWER(電源開発(株))	○	
6	日本原燃(株)	○	○
7	東京パワーテクノロジー(株)	○	
8	東電設計(株)	○	○
9	(株) テプコシステムズ	○	○
10	原電エンジニアリング(株)	○	
11	原燃輸送(株)	○	
12	(株) 関電パワーテック		○
13	関電プラント(株)	○	○
重電メーカー			
14	(株) 日立製作所	○(web)	○(web)
15	三菱重工業(株)	○	○
16	(株) 東芝(東芝エネルギーシステムズ(株))	○	
17	富士電機(株)	○	○
プラント・エンジニアリング企業等			
18	(株) アトックス	○	○
19	MH I N Sエンジニアリング(株)	○(web)	○
20	(株) オー・シー・エル		○
21	(株) 関電工	○	
22	原子燃料工業(株)	○	○
23	(株) 原子力エンジニアリング	○	○
24	新日本空調(株)	○	
25	(株) スギノマシン＊	○(web)	
26	(株) 千代田テクノル	○	○
27	(株) 東京エネシス	○	○
28	東芝プラントシステム(株)	○	
29	日揮グローバル(株)＊	○	○
30	(株) 日本環境調査研究所	○	○
31	日本原子力防護システム(株)	○	○(web)
32	(株) NESI	○(web)	○(web)
33	(株) 日立プラントコンストラクション	○	○
公益、独立行政・研究法人			
34	(一社) 原子力安全推進協会	○(web)	○(web)
35	原子力規制委員会 原子力規制庁	○	○
36	原子力人材育成・確保協議会	○(web)	
37	原子力発電環境整備機構	○	○
38	(国研) 日本原子力研究開発機構	○	○
39	(公社) 日本アイソトープ協会	○	
40	(国研) 量子科学技術研究開発機構	○(web)	○(web)
		37	28

3. 原子力産業セミナー2023の主な特徴と来場学生のプロフィール（速報ベース）

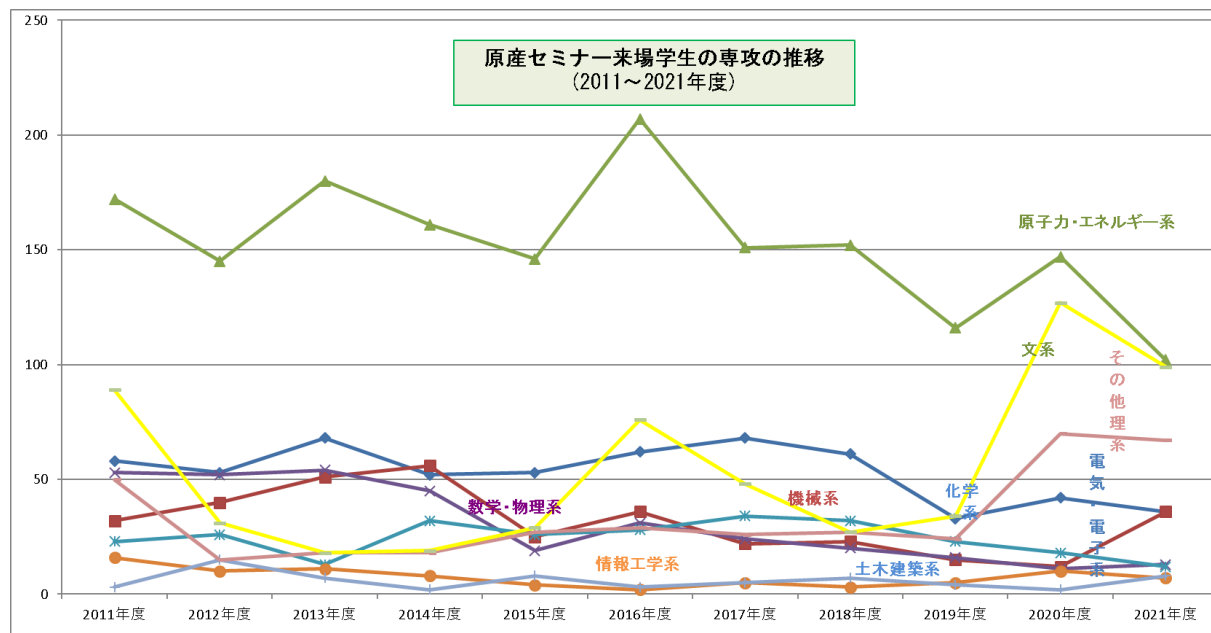
東京・大阪の両会場及びWebで参加した学生のプロフィールは以下の通り。

- ・ 会場に来場した学生は合計 317 名（83%）、Web 参加の学生は 63 名（17%）。Web 参加学生は関東・関西以外の大学からの参加者が多く見られた。
- ・ 会員企業のニーズを踏まえ、理系学生を中心に集客を行ったが、文系学生も多く来場したため、東京・大阪会場の理系比率は 71%（昨年度 71%）となった（理系学生数は 270 名（昨年度 312 名）。また企業から人気の高い第二新卒（既卒）も参加。
- ・ 女性来場者の割合は 27%で、昨年度（24%）より増加。

年度別での学生の専攻（人数）の推移は以下の通り。



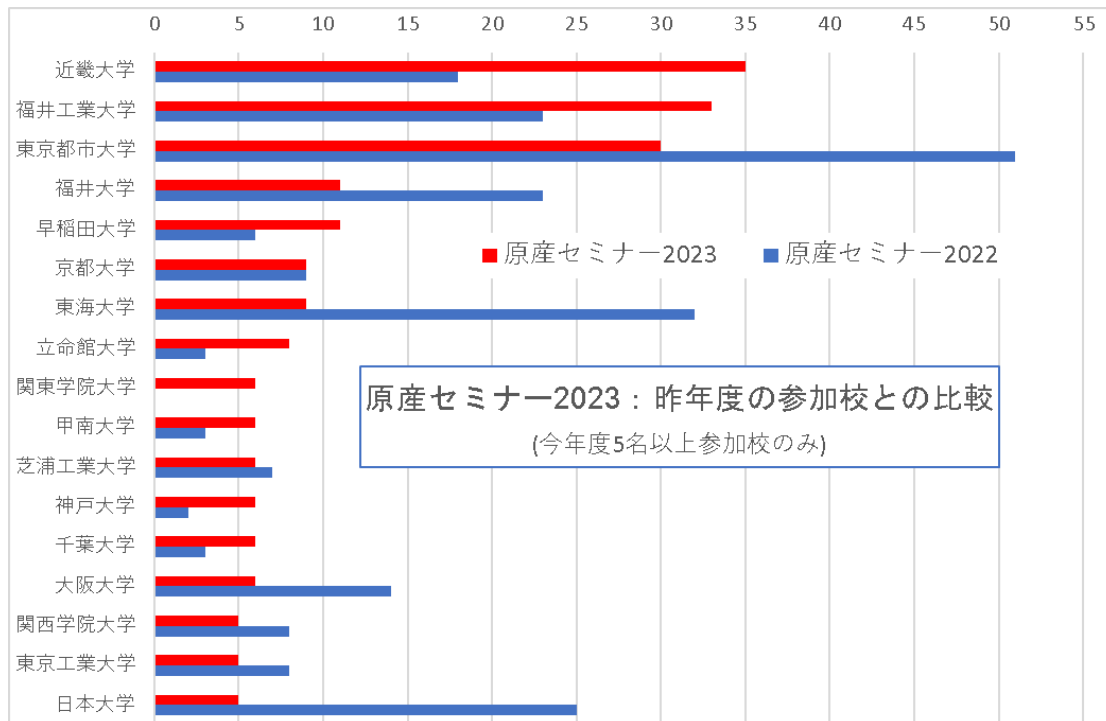
（2011年度以降の推移）



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。また文理融合学科や環境学科等の従来なかった理系学科は「その他理系」にカウントしている。

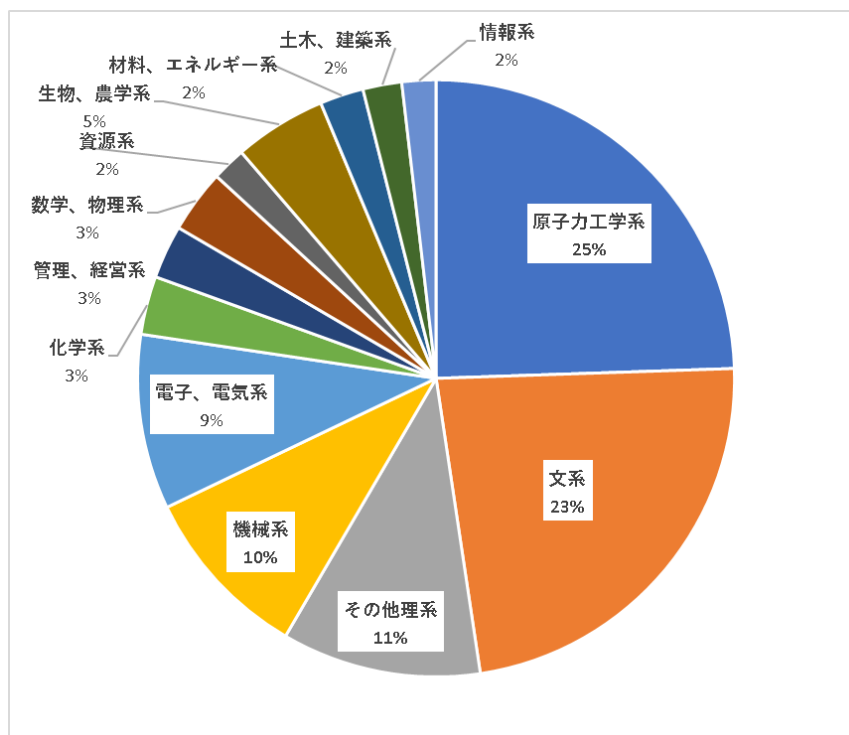
4. 来場した学生の所属校（グラフは東京+大阪で今年度5名以上の参加校のみ）

今年度の原子力産業セミナー（東京、大阪、Web）には124校の大学等（昨年度102校）から380名（昨年度439名）の学生・既卒が参加した。下記に今年度の5名以上参加校と昨年度との比較を示す（赤は今年度、青は昨年度）。最多は近畿大学、次いで福井工業大学、東京都市大学、福井大学、早稲田大学だった。



5. 学生の専攻

今年度、東京・大阪会場に来場した学生の専攻の割合は以下の通り。



*学科の大括り化のため、原子力系の一部は電気・電子系としてカウントされている。

6. 参加学生の声

- ・ 自分の専攻しているものと当てはまっており、それを生かせるところが多いと思った。またやりがいがあり、自分の成長へとつながると思った。(東京・対面)
- ・ やはり原子力には未来があると思えた。(東京・対面)
- ・ 原子力産業が「日本のエネルギー産業を支えたい」という同じ目標を目指している事が分かった。(東京・対面)
- ・ 原子力産業＝発電所のイメージが強かったが、そのイメージを払拭できた。(東京・対面)
- ・ 参加者が少なかったので、社員の雰囲気や業務について深く知ることができた。(東京・Web)
- ・ 社会貢献性が高く、文系でも活躍できるフィールドがあるとわかった。(大阪・対面)
- ・ 社員からの現場の声を聞き、HP や独自で調べた内容より興味を深く持てた。(大阪・対面)
- ・ 原子力に関してのセミナーは、これまで参加したことがなく、企業の方から直接説明していただけの、貴重な機会であった。(大阪・対面)
- ・ オンライン参加だと、録画を再生するだけといったものが多いが、今回のイベントは生配信で話を聞けて、質問もすぐできたので、とてもよかった。また大阪は遠いので、経済的にもオンラインで自宅から参加できると非常に助かる。(大阪・Web)
- ・ 利益よりも社会貢献を追求する姿勢に魅力を感じた。(大阪・Web)

7. 写真

<東京会場>

ブースで説明を聞く学生の皆さん



Web 出展者と対話



遠隔地の学生とは Web 経由で対話



大ブースには複数企業が出展



<大阪会場>

ディスプレイの工夫で学生にアピール



Web 出展者には専任のスタッフがアシスト



以上